

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 2月 1日

事業所名 ぽこ あ ぽこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		もっと広いといいと思うことはあります。
	2	職員の配置数は適切である	8			適切であると考えます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2		段差はない状態です。車いす利用者は受け入れしれない前提なので現状で充分と考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		非常勤職員にも理解を深めてもらい、みんなで計画の相談をしていけるよう努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		保護者への配布、掲示、市役所にも提出しています。ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	5	第三者になって頂けそうな方と協議してきましたが、年度内に実現できませんでした。引き続き交渉していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			今年度は虐待防止研修、苦情解決研修に参加しました。地域支援協議会の開催する研修にも参加しています。月1回は事業所内でも研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別の支援計画を作成している	8			相談支援専門員とも連携し、より良い支援計画の作成に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3		意見を募り、活動プログラムを考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			特性や個々の達成度に応じたプログラムになるよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		長時間利用される方が多いので時間配分を考えながら勉強、作業等その子にあった課題を設定しています。休日や長期休暇には日頃できない活動や行事を設定し、課題や制作にも取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別の支援計画を作成している	8			制作やみんなでゲームなど、個別、集団で計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			開始前に前日の申し送りや注意事項、子どもについての情報を共有をしています。全ての職員が周知できるよう連絡ノートを使い必要に応じ確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	2	職員の業務終了時間が異なるため全員揃うことは難しいですが、翌日の開始前に伝え全体共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			個別の活動や、集団の活動の内容の記録、個人のその日の様子等記録をとり、検証・改善につなげるよう努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別の支援計画の見直しの必要性を判断している	8			半年ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	8			季節にあった制作、行事をしています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児発管が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		保護者や学校と連携し、情報共有に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	7	受け入れていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		主につくしの相談支援員と情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5		依頼があれば対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	2	連携できていません。今年度、支援センターの研修動画もありましたが、うまく活用できませんでした。今後努めて行きたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			8	保護者からの要望はありません。今の現状では実施は難しいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		1	市の子ども部会に児発管が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			連絡ノート、SNSなどを使い伝え合っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		7	1	ペアレント・トレーニングは行っていますが、子育てに対するアドバイスや支援は行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に行っています。必要に応じ説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			来所頂いたり、電話やLINEを利用して対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	2	父母の会、保護者会は行っていませんが、今年度行った茶話会は好評だったので、また企画したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			受付担当者、責任者を決めています。保護者等の指摘に対し、その日のうちに確認及び職員に周知するように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	2	会報は定期的に発行することができていませんが、ホームページを開設したので、そこから情報発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	7	交流はありませんが、災害時個別救援組織の中に入れて頂いています。災害時は、民生委員、児童委員の方に支援して頂けることになっています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	1	各種マニュアルを作成し、誰でも見られる場所に置いてあります。職員も周知していますが保護者の方たちにも周知して頂けるよう発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			年2回以上行っています。日によってメンバーが違うので、必ずしも全員が訓練できているとは言えません。今後は訓練の回数を増やすなどして様々な条件下で行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			年に2回以上の研修を行っています。職員全員が毎月チェックリストを実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		3	今現在該当する利用者はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ヒヤッとしたハツとした事柄を記録し、申し送り時に職員間で共有するようにしています。